

令和6年(2024年)9月26日 <No-10>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

酪農生産性向上対策事業の 第2回目(後期)のバルク乳検査が始まります



松本家畜保健衛生所では、生乳の品質と生産性の向上を図るため、後期のバルク乳細菌検査を生産者団体と協力して行いますので、採材・検査へのご協力をお願いいたします。

なお、併せて牛ウイルス性下痢 (BVD) ウイルスの遺伝子検査も行います。

第2回目(後期)の採材日程

南信酪農業協同組合・・・・・・10月上旬～中旬
JA 大北, JA あづみ, JA 松本ハイランド・・・・10月下旬
JA 木曽, その他の酪農家・・・・・・10月中旬

※詳細は別途家保又は生産者団体から連絡します。

第1回目(前期)の検査で多く分離された乳房炎の原因菌について

酵母様真菌

牛の免疫機能の低下、カビの生えた敷料の使用などが誘因となります。

無症状で、乳汁中の体細胞数だけ高くなる場合や、乳房の熱感・腫れ・硬結、乳汁へのブツ排出、発熱(元気食欲は低下しないことが多い)などの症状が出る場合があります。

一般的な抗生物質は効かないため、頻回搾乳等で対処を行います。

コリネバクテリウム属菌

一般的には潜在性乳房炎の原因菌として分離されますが、稀に、臨床症状を示す乳房炎を引き起こすことがあります。このとき、乳汁中の体細胞数の増加や、乳糖・無脂乳固形分の低下などを招くこともあります。

感染を予防するために、適切なディッピングやしっかりとした乳頭清拭を行うことが大切です。



検査の結果、バルク乳から BVD ウイルスや乳房炎の原因菌が検出された場合は、個体乳の検査による感染牛の特定や、搾乳立会等による問題点の検討も可能ですので、当所までお問い合わせください。

【TEL:0263-47-3223】

しあわせ  信州

(問合せ先)

松本家畜保健衛生所保健衛生課
神戸(課長)、岩本(担当)